

SDGDIALOGUE

持続可能な開発目標を達成するための知恵と見識を分かち合おう



地域機構と持続可能な開発目標(SDGs): 科学と政策、能力形成

登壇者

カティンカ・ウェインバーガー
国連アジア太平洋経済社会委員会

石井 敦
東北大学

モデレーター

蟹江 憲史
UNU-IAS / 慶應義塾大学

ハイン・マレー
Future Earthアジアセンター

松岡 俊二
早稲田大学

持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた主要な課題として、国際的目標を地域や国の優先課題に落とし込んでいかなければなりません。地域・国・地方のレベルでの目標として、貧困・気候変動・教育などの多様な問題を統合的に解決するためには、一貫性のあるアプローチが必要となります。現在、各国の研究者と政策立案者たちは、SDGsと地域的目標との間の相乗効果や生じうる代償を見極めることに奮闘しています。科学的知識と政策とのよりよい相互関係を考えることと、人々に十分な能力があることは、ともにSDGsの統合的な実施のための必須条件となります。

本イベントでは、SDGsの達成に向けて、地域機構の役割について話し合います。科学的知識と政策とのよりよい相互関係を考えることを主題としながら、とくに次のような問題について、ゲストと参加者の皆様のあいだで議論を深めます。

1. 国際的な目標であるSDGsと、アジア・太平洋地域における優先課題との折り合いをつけるために、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)のような地域機構はどのような役割を果たせるでしょうか。
2. 地域機構は、政策立案者の能力を高めるために、どのようにして科学的知識と政策とのよりよい相互関係を考えることができるでしょうか。
3. 科学的知識と政策とのよりよい相互関係を考えることは、より広い国際的なレベルでの政策の立案に対して、どのように活用できるでしょうか。

2016年10月13日(木)

14:00-16:30

場所

国連大学
〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70

日本語と英語の同時通訳があります。
参加ご希望の方は、UNU-IASのウェブサイトからお申し込み下さい。

